

貸借対照表及び個別注記表

(第 18 期)

自 平成 27 年 4 月 1 日  
至 平成 28 年 3 月 31 日

株式会社 J I M O S

福岡市博多区冷泉町 2 番 1 号  
博多祇園M-SQUARE7 階

## 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

<単位:千円>

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,689,467	流動負債	1,112,265
現金及び預金	867,448	買掛金	192,757
受取手形	202	リース債務	26,983
売掛金	929,737	未払金	445,243
商品	484,710	未払費用	31,274
貯蔵品	192,740	未払消費税	45,269
仕掛品	58,342	未払法人税等	187,712
前払費用	81,125	賞与引当金	66,427
未収入金	7,143	販売促進引当金	108,231
繰延税金資産	85,084	その他	8,367
貸倒引当金	△ 19,150	固定負債	149,640
その他	2,082	長期リース債務	25,894
固定資産	772,133	退職給付引当金	123,746
有形固定資産	159,263		
建物	48,046	負 債 合 計	1,261,906
器具及び備品	69,815	純 資 産 の 部	
リース資産	41,402	株主資本	2,170,177
無形固定資産	320,617	資本金	350,000
ソフトウェア	294,263	資本剰余金	87,500
リース資産	3,128	資本準備金	87,500
ソフトウェア仮勘定	23,225	利益剰余金	1,732,677
投資その他の資産	292,252	その他利益剰余金	1,732,677
投資有価証券	92,000	別途積立金	1,328,727
破産更生債権等	79,741	繰越利益剰余金	403,950
長期前払費用	2,166	評価・換算差額等	29,517
敷金保証金	163,683	その他有価証券評価差額金	29,517
長期繰延税金資産	34,401	純 資 産 合 計	2,199,694
貸倒引当金	△ 79,741	負 債 純 資 産 合 計	3,461,601
資産合計	3,461,601		

(注1)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)当期純利益 307,074千円

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① その他有価証券

・時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

・時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業組合等への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合等の事業年度に係る財務諸表及び中間財務諸表に基づいて、組合等の損益のうち持分相当額を純額で計上しております。

##### ② たな卸資産

・商品、貯蔵品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

（リース資産を除く）

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法を採用しております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品 3～15年

##### ② 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

##### ③ リース資産

定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。

④ 販売促進引当金

販売促進を目的とするポイント制度に基づき、顧客に付与したポイントの利用に備えるため、過去実績率に基づき将来利用されると見込まれる額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。